

薬研藤四郎

鎌倉時代の刀工粟田口（あわたぐち藤四郎とうしろう）吉光よしみつが製作した短刀の一つです。この短刀を投げ捨てたところ、薬研やげん（漢方薬などを作る際、薬種を粉にひくために使う道具）を貫いたことからこの名がつけました。

この短刀は福井にゆかりのある織田信長が所持していたことで知られます。福井は織田氏の発祥の地としても知られ、織田氏は元々越前二の宮でもあるつるぎ劔神社（越前町）の神官をつとめていたとされています。

今回は薬研藤四郎を所持していたことがある信長に関する資料を展示します。